

感染者多数発生地域から帰宅した家族等がいる場合の家庭内での注意

新型コロナウイルス感染者が多数発生している地域（※）から帰宅・帰省した家族等（以下帰宅家族という）がいる場合、家庭内で以下の点に注意してください。

体調等に関して相談がある場合は、職員厚生課 健康管理担当に連絡してください。

※該当地域は人事課キャビネットを参照

<家庭内での注意>

- 帰宅家族と部屋を分ける。食事や寝るときも別室が望ましい。
難しい場合は、同室内では全員がマスクを着用し、定期的に換気を行う。共用スペース以外の部屋の換気も行う。
- 帰宅家族と洗面所・トイレを共用する場合は十分な清掃と換気を行う。
- タオルや寝具、食器、歯ブラシなど身の回りのものは共用しない。
特にタオルはトイレ・洗面所、キッチンなどでは共用しないよう注意。
ただしタオル、衣類、食器等は通常の洗濯や洗浄で、分けて洗う必要はない。
- 同居家族の嘔吐物や糞便等で汚れた衣類、タオル、寝具等を取り扱う際は、手袋とマスクをつけ、通常の洗濯用洗剤で洗濯し、しっかりと乾燥させる。
- 共用部分（ドアの取っ手、ノブ、テーブル等）はアルコール消毒薬または家庭用塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム 0.05%）を用いて清拭する。（次亜塩素酸ナトリウムは製品の濃度が5-6%の場合、液10mLを水1Lで薄める。次亜塩素酸ナトリウムで清拭した後は水拭きする）
- 咳をしたり鼻をかんだティッシュ等はビニール袋に入れ、密閉して捨てる。
- 清掃・洗濯等の後は石鹸と流水で手を洗う。

<健康管理>

- 家族全員が体温測定、その他症状の有無を観察する。
- 不要不急の外出を避けるとともに外部からの不要不急な訪問は受け入れない。
- 石鹸による手洗い、手指消毒、咳エチケットの励行
- 洗っていない手で目や鼻、口などを触らない。
- バランスの取れた食事・睡眠を十分にとり免疫力を高める。
- 有症状時は所属長に報告する。